



ははたき

医療法人財団 白十字会ホームページ

<http://www.hakujyukai.or.jp>

ははたき第20号 ● もくじ

■ 年頭挨拶

②

■ 最新!! 医療機器

③

— 腹腔鏡トレーニングボックス —

■ 糖尿病センター での取り組み [連載第1回]

④

■ 連携医療 機関のご紹介 [Vol.9 加瀬クリニック]

⑥

■ 新任Dr.の紹介

⑧

■ 認定看護師のご紹介

⑧

■ クリーンウォーキングを開催しました

⑨

■ STI予防啓発キャンペーンに参加しました

⑨

■ 1月の外来診療担当表

⑩



本院内
接遇投票にて上位に選ばれた
スタッフの紹介

基本理念

患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

1. 患者様の権利を尊重し、患者様中心の快適な療養環境を提供いたします。
1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
1. 職員の総和をもって納得の医療を推進し、患者様から安心され信頼され、愛される病院を作ります。
1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

患者様の権利と義務

1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
2. 自身の症状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
3. 医療者の提案する診療計画など自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
5. 他施設の医師に相談することができる(セカンドオピニオン権)
6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)

平成23年 病院長年頭挨拶

佐世保中央病院 院長 植木 幸孝



皆様、明けましておめでとうございます。

常日頃、佐世保中央病院が大変お世話になり厚く御礼申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いします。

さて、佐世保中央病院は、今年2月に、佐世保医療圏の地域医療支援病院に認可され4年目を迎えます。地域医療崩壊が叫ばれる中、地域に欠かせない急性期病院として、当院では特に脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、救急医療について受入体制の整備を進めています。昨年3月には、佐世保市と江迎町、鹿町町の市町村合併がありました。行政の合併に遅れないように、佐世保・県北の医療圏の強固な連携体制の構築が急がれています。しかしながら、佐世保・県北地区においては、深刻な医師不足が続いています。昨年9月26日に、厚生労働省は「病院等における必要医師数の実態調査」を公表しました。それによりますと、医療機関が不足していると考える医師数は、総計24,000人強と推算でき、更には医師の地域的偏在、診療科的偏在、あるいはそれらの組み合わせの偏在などが起きていることが明らかにされました。佐世保中央病院は、佐世保医療圏の地域医療支援病院にとどまらず、佐世保・県北医療圏におきまして、患者さまのニーズに対応した医療機能・病院機能を適切に選択し、地域医療を支援する能力を備え、そして高い医療の質を実現し続けるあらゆる努力をしてまいります。その他の取り組みとしまして、一昨年12月に井手センター長を中心に認知症疾患医療センターがスタートし、また昨年末には、長崎県からがん診療連携推進病院として認定され、今月からその活動をスタートさせることができました。

佐世保中央病院は、各部門の連携(多職種協働)し、急性期病院として以下の実現を目指したいと思います。今後も変わらないご支援をお願いします。

- 患者様に満足される安心で質の高い医療の提供
- 佐世保中央病院の特色を活かした地域医療の提供
- 在宅医療の推進
- 質の高い医療人の育成
- 臨床研究を通じた医療の向上への貢献

平成23年度が市民の皆様にとりすばらしい一年となりますようお祈り申し上げます。今年もよろしくお願いします。

腹腔鏡トレーニングボックス

皆さんは腹腔鏡下手術という言葉を知っていますか？最近ではメディアでも腹腔鏡下手術特集をしていることもあり、ご存知のかたも多いのではないのでしょうか。

腹腔鏡下手術とは、腹壁にいくつか小さな穴を開けて、そこから胃カメラのような小さなカメラやはさみなどを挿入して腹腔内をテレビモニターに映し出し、そのモニターを見ながら腹腔内臓器の剥離や切除などを行うものです。おなかを大きく開けて行う開腹手術と比べて、モニターを見ながらの操作になるのでどうしても時間は長くはかかりますが、素晴らしいのはなんとといっても傷が小さい事！“こんな小さな傷で腸を切ったの？”と目を疑ってしまうほどです。傷が小さいということは美容的な観点からも好ましい事であり、また小さい傷なので術後の疼痛も少なく、早期の離床が可能で患者さんの精神的及び身体的負担も軽くなります。おなかの手術を行う患者さん全員にこの腹腔鏡下手術ができるわけではありませんが、患者さんの病状や体型などに応じて当院でもこの腹腔鏡下手術を積極的に行うようにしています。以前より腹腔鏡下胆嚢摘出術や、同様の方法で肺の手術を行う胸腔鏡下手術(VATS)を行っていましたが、最近では大腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術(LAC)にも積極的に取り組んでいます。



【実際の手術の様子】

そんな中、腹腔鏡トレーニングボックスを導入しました。これは腹腔鏡手術を模倣したボックスで、テレビモニターをみながら手術操作のトレーニングができるようになっています。外科若手医師の技術の向上が主な目的ですが、先日は子供参観日で病院をおとずれた子供たちが、1日体験の中でこのトレーニングボックスを使って、腹腔鏡下手術の模擬体験を行い、大好評でした。

現在医師不足が深刻な問題となっていますが、その中でも長時間手術など体力を要する外科を志望する若手医師も少なくなっています。胃カメラなどの技術が進み、かつては外科領域であった部分を内科が

カバーしてくれることも多くなりました。しかし、やはり外科医でなければ救えない命はあるのです。このトレーニングボックスをきっかけに、子供たちが医療という世界に、そして若手医師が外科という世界に興味を持ってくれるとうれしい限りです。

【外科医師 吉廣 優子】



小学生が子ども参観日の中で
トレーニングボックスを使っている様子

糖尿病センターでの取り組み

こんにちは。佐世保中央病院糖尿病センター医長の藤島圭一郎です。当病院へ赴任して2年半が過ぎようとしています。以前から当院糖尿病センターは非常に有名で、センター長の松本一成先生を始め、多くのスタッフが互いに協力し合い、多くの実績をあげていることを聞き、ぜひここで働きたいと思っておりました。念願叶い現在糖尿病センターの一員として頑張っています。

今回ご紹介したいのは、クリニカルパスというシステムです。クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して、スケジュールを表にまとめたもので、1つの病気の治療や検査ごとに1つずつ作られています。

昔と違い、なぜこのようなものを作っているのか？それにはちゃんとした理由があります。

- ①クリニカルパスを使用することにより、科学的根拠に基づいた治療ができ、無駄な検査や投薬を減らすことも可能です。
- ②医師、看護師、薬剤師、検査技師、栄養士、理学療法士、その他多職種にて作成されています。そのため、出来上がったクリニカルパスは、各専門分野からの意見を元に科学的根拠に基づき作成されています。
- ③クリニカルパスをお渡しすることにより、患者さんには入院中のスケジュールを把握することができ、より安心して治療や検査を受けていただけます。

以上がクリニカルパスの説明ですが、簡単に言えば、患者さん全員が平等に検査、治療がおこなわれると考えていただいて結構です。

当院の糖尿病センターではいくつかのクリニカルパスを患者さんの状態や目的によって使い分けています。

クリニカルパスはいくつかありますので、今回と次号とに分けて説明したいと思います。

まずは〈糖尿病教育入院クリニカルパス〉の紹介です。

当院で一番使用されているクリニカルパスです。入院期間は13日です(基本は月曜日入院)。

このクリニカルパスの目標は、患者さん自身に糖尿病とはどういう病気なのか、どのような合併症があるのか、どうやったら糖尿病の合併症を防ぐことができるのか、自分にできる糖尿病治療の取り組みは何があるのかなど、糖尿病の基礎的な知識を身につけ、今後の糖尿病の治療に役立てることです。もちろん主治医と今後の治療方針を一緒

糖尿病教育入院治療計画書

主治医 () 担当看護師 ()

項目	入院当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目	12日目	退院日
検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査	血糖検査 HbA1c検査 尿糖検査 尿蛋白検査
治療	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録	血糖値測定 血糖値目標設定 血糖値変動の観察 血糖値変動の記録
食事	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価	食事療法 食事療法指導 食事療法相談 食事療法評価
運動	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価	運動療法 運動療法指導 運動療法相談 運動療法評価
薬剤	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価	薬剤療法 薬剤療法指導 薬剤療法相談 薬剤療法評価
看護	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価	看護療法 看護療法指導 看護療法相談 看護療法評価
理学療法	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価	理学療法 理学療法指導 理学療法相談 理学療法評価
栄養	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価	栄養療法 栄養療法指導 栄養療法相談 栄養療法評価
その他	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価	その他 その他指導 その他相談 その他評価

※本計画書は、患者さんの状態や目的に応じて変更されます。ご希望の方は、看護師までご相談ください。

【糖尿病教育入院治療計画書】

～クリニカルパスのご紹介～

に考えます。

このパスには多くのスタッフがかかわります。専門の知識をもった看護師が毎日丁寧な個別指導を行います。薬剤師は現在投与中の薬の作用、副作用などを説明し、内服方法やインスリンの打ち方を指導します。栄養士はパスの期間中個別指導を2回行い、患者さんに合った食生活を指導します。理学療法士は患者さんの状態に合わせた運動療法を実践を含めて行います。

また土曜日、日曜日を除き毎日糖尿病教室が開かれて、そこで医師、看護師、栄養士、検査技師が各種テーマでわかりやすく集団指導を行っています。ここでは、堅苦しくならないように、また難しい医療用語はできるだけ簡単な言葉で表現し、医療の知識が豊富でない患者さんにも理解しやすい講義を目指しています。

対象としては、初めて糖尿病と診断されて治療方針を決める患者さん、以前も教育入院をしたことはあるが、すでに知識が曖昧になってしまい、再度治療方針を決め糖尿病について学びたい患者さん、合併症が進行しており大きく治療方針を変えなければいけない患者さんなどなど、いろんな状態の患者さんに適用されます。ただし、治療をする気が全くない患者さんや認知症などで自己管理ができない患者さんにはこのパスは適さないと思われます。

次に、合併症パスです。

このパスは、1泊2日です。このパスの目標は、現在の合併症がどこまで進行しているのかを短期間に詰め込んで検査し、今後の治療方針を決定するのに役立つことです。朝から入院し、採血を含む合併症の検査を行い、翌日に栄養指導を、主治医からは検査の説明を受けてから夕方には帰宅できます。

患者さんの中には仕事や家事が忙しく、検査はしたいけど13日間の入院はできないという方が多く見られます。

このパスを使用すれば、外来で行うと何度も通院しなければいけない検査や、外来ではできない検査をたった2日で完了できます。

今回のお話は以上です。

次回は腎症パスと持続血糖測定(CGMS)パスを説明いたします。楽しみにお待ちください。

【糖尿病センター医長 藤島 圭一郎】

糖尿病合併症パス		患者名	様 歳 (男・女)	疾患名	主治医()	担当看護師()
経過 日時	外来	入院日(第1日)		退院日(第2日)		
食事		<input type="checkbox"/> 糖尿病食 <input type="checkbox"/> 血液・尿の検査があります <input type="checkbox"/> 心電図、胸部レントゲンがあります		<input type="checkbox"/> 眼の検査があります		
検査	午前	<input type="checkbox"/> 動脈硬化を調べる検査があります <input type="checkbox"/> 神経機能を調べる検査があります <input type="checkbox"/> 尿波伝播速度		<input type="checkbox"/> 医師説明があります		
	午後	<input type="checkbox"/> ビデオ鑑賞				
モニタリング	<input type="checkbox"/> 身長測定 <input type="checkbox"/> 体重測定	<input type="checkbox"/> 血糖値を測ります (14:00, 17:30, 20:00, 22:00) <input type="checkbox"/> 血圧を測ります		<input type="checkbox"/> 血糖値を測ります (7:30, 10:00, 11:30)		
栄養指導				<input type="checkbox"/> 栄養指導があります P.M. <input type="checkbox"/> アンケートにご協力ください		
その他				<input type="checkbox"/> 退院時、書類をお渡しします		

※入院当日は朝から食事せず9時に御来院ください

社保、本人、家族 3割 ¥25,000 国保・単独 3割 ¥25,000 老人(70歳以上)1割 ¥10,000
 退職、本人、家族 2割 ¥17,000

佐世保中央病院 2005/11/26

【糖尿病合併症パス】

みなさん、こんにちは。佐世保中央病院近くの日宇町で開業している加瀬クリニックの加瀬と申します。

地元の日宇小学校卒業後、中学からは親元を離れ私立の中学・高校へ行きました。大学卒業後は九州大学医学部第二外科へ入局しました。大学病院、関連病院で研修を行い、大学院では肺癌の研究を行いました。1999年父が病气となり、診療が困難となってきたため2000年に佐世保に戻ってきました。半年間は平戸市の柿添病院で地域医療の勉強をさせて頂き、2001年に父の跡を継いで開業しました。

■加瀬クリニックの特徴は プライマリーケアと在宅医療

私は、もともと外科医として研修を積んできましたが、開業するにあたり地域住民が必要とする医療の提供が必要ですので、まず当院の柱としてプライマリーケア(いろいろな病気に対し幅広く初期から対応する家庭医・かかりつけ医)と在宅医療に力を入れてきました。プライマリーケアとして呼吸器、消化器、循環器、リウマチ、糖尿病等の内科疾患、腰痛、膝痛等の慢性疼痛疾患、縫合を必要とする外傷等の整形外科・外科疾患、軽いうつ病、不眠症など精神科疾患、その他皮膚科疾患、小児科疾患など自院で対応できる疾患はなるべく診るようにしています。専門医受診が必要なときや専門医受診を希望されるときには専門の医療機関に紹介しています。もう一つの柱である在宅医療ですが、現在午後の診療の間に毎日2件から6件ほど訪問診療を行っています。また、施設への訪問診療も自院関連の2施設を含め6施設行っています。最期を自宅で看取る患者さんも徐々に増え、9年間で33件となり、2009年は9

名の患者さんを看取りました。老衰を看取ることも、癌末期を看取ることもあります。在宅医療は私一人で完結する事はできませんので、訪問看護、訪問リハビリの医療系サービスと訪問介護などの介護サービス、家族の献身的な努力が欠かせません。特にターミナルケアにおいて、訪問看護は不可欠な存在です。



院長:加瀬 真一郎先生

■グループホームの運営を通し、 認知症患者さんへの対応も

2003年4月には長い間利用していなかったクリニック2階の元入院施設を改装し、グループホームカナリアの家(認知症対応型共同生活介護)、2005年には白岳町にカナリアの家ファミリアを開設しました。それぞれ定員が9名で、認知症があり在宅での生活が困難となってきた患者さんが対象となります。現在認知症患者さんが急増しており、医療、介護での連携が必要となっています。認知症初期の患者さんには適切な診断が必要なため、佐世保中央病院認知症疾患医療センターに紹介することがしばしばあります。認知症疾患医療センターでの診察後、担当していただいた先生から細かな情報を頂きますので、日頃の診療にも大変役に立っています。

■佐世保中央病院との 医療連携の実際

佐世保中央病院は当院から近いこともあり、多くの患者さんを紹介させて頂いております。

在宅の患者さんを診ていくためにはどうしても入院ベッドの確保が欠かせません。日頃往診に行っている患者さんが肺炎などを起こしたときには、地域医療支援病院である佐世保中央病院が時間外、夜間でも対応してくれますので大変助かっています。

また、2007年3月アルカス佐世保で行われた白十字会の学会(白十字会Institute)、2009年10月の地域連携のための医師の勉強会(経過報告会)、2010年7月の緩和医療検討会で在宅ケアの取り組みに関する発表の機会を頂きました。自分の診療実績を見直す意味でも貴重な体験ができました。

■地域を支えていくために 医療・介護とも幅広く連携を

佐世保中央病院を始め、白十字会は耀光リハビリテーション病院、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、老健施設長寿苑、サン(燦)、訪問リハビリ、ドリームケア(通所介護事業所)など、急性期医療、回復期医療、在宅医療、介護と多方面にわたり、様々な施設を有しています。

今後も佐世保中央病院を始め地域の様々な医療・介護に関わる施設と、常日頃から緊密に連携し、地域医療を支えていければと考えています。



加瀬クリニック

所在地 佐世保市日宇町649-9
 電話番号 0956-32-5656
 診療時間 平日 9:00-12:30
 14:00-18:00
 土曜日 9:00-12:30
 休診日 休診
 診療科 外科・内科・胃腸科・呼吸器科・
 肛門科・整形外科

●診療上の特色

- ・プライマリーケアに重点を置いています。
- ・往診を随時行います。
- ・認定産業医:基本健診、がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・乳がん)
各種健康診断
- ・在宅療養支援診療所 ・予防接種(各種)

●お薬の処方

院外処方

●各法による指定医

- ・生活保護法 ・原爆被爆者医療 ・結核予防法
- ・労災指定医療機関(二次健診有)





新任Dr.の紹介

- ①診療科
- ②出身大学
- ③卒業年
- ④出身医局
- ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

Ⓐ医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？
 Ⓑ趣味、または特技を教えてください。
 Ⓒ自己PRをお願いします。
 Ⓓ最後に患者様へ何か一言お願い致します。



とくなが こうすけ
徳永 亨介 Dr.

- ① 泌尿器科(常勤)
- ② 金沢医科大学
- ③ 平成8年卒
- ⑤ 日本泌尿器科学会専門医 (H16年2月～)

Ⓐ父親の影響を受けて医師を志し、大学で泌尿器科(特に移植)に興味をもちました。
 Ⓑ映画鑑賞、車
 Ⓒ名医ではなく良医である事を目指しています。今後も宜しくおねがい致します。
 Ⓓ泌尿器科一般を専門としています。何でも御相談下さい。



たにくち しんいちろう
谷口 真一郎 Dr.

- ① 心臓血管外科(常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成11年卒
- ④ 長崎大学 心臓血管外科
- ⑤ 日本心臓血管外科専門医
日本外科学会専門医
日本外科学会認定医

Ⓐ小学生の時、眼の外傷で医師の凄さを実感したからです。
 Ⓑゴルフ、読書
 Ⓒ佐世保中央病院は3度目の赴任となり、大きなご縁を感じます。
 Ⓓ安心と信頼の循環器医療に努めます。

認定看護師のご紹介

佐世保中央病院には5名の認定看護師が活躍しています。

認定看護師(CN:Certified Nurse)とは、認定看護師教育機関にて分野に応じた教育課程(6ヶ月・600時間以上)を修了し、日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいいます。

地域の医療従事者の皆様にご参加頂き、地域共同学習会という形で研修会を行ったり、連携医療機関の皆様からのご相談に応じたりもしています。今後も専門性を高めて行きながら皆様のお役に立ちたいと考えています。

認定看護師のご紹介

緩和ケア

感染管理

癌化学療法看護



福田富滋余



桃田美智



奥田聖子



辻かよ子



原田里香

佐世保中央病院では質の高い医療を地域の皆様に提供するため、今後も人材の育成に取り組んで参ります。

クリーンウォーキングを開催しました

11/6(土)に第2回白十字会クリーンウォーキングを開催しました。

クリーンウォーキングとは社会貢献活動の一環として、佐世保中央病院、燿光リハビリテーション病院の周辺をゴミ拾いしながら、歩くイベントです。

当日は晴れ渡った青空の下、中央会場、燿光会場あわせて約120人の職員とその家族が参加しました。

約5kmの道のりでしたが、意外にゴミが落ちていることにビックリ。でも一生懸命ゴミを拾っていると、ご近所の方から励ましの声をかけていただき、元気が出た職員もいたようです。

発端は地域の皆様への恩返しの目的で企画したイベントだったのですが、参加した職員からは「終わった後の爽快感が最高」「また家族で参加したい」などの意見がありました。自分たちの心の栄養にもなったようです。

白十字会ではこの試みを来年以降も続けていく予定です。



STI予防啓発キャンペーンに参加しました

12月4日島瀬公園にて、(社)長崎県臨床検査技師会主催で行われた「*STI予防啓発キャンペーン」に当院の臨床検査技術部から6名参加し、性行為感染症の予防・啓発に関する、パンフレット配布やアンケートのお願いを行いました。

(※STI・・・性行為感染症、STDともいう)



皆様のご意見、ご感想、ご質問など何でもお寄せください!

いつも最後まで目を通していただきありがとうございます。

皆様からのご意見・ご感想を是非お聞かせください。今後の誌面づくりの参考にさせていただきます。また、医療やお薬に関する疑問・悩みなど何なりとお寄せください。できる限り、誌面上でおこたえさせていただきます。

電子メール: sch@hakujujikai.or.jp 佐世保市大和町15番地 佐世保中央病院 広報委員会

外来診療担当表

全診療科予約制

平成23年 1月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		小河原				小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		福田						福田(再)	林(再)	林(再)	
	神経内科	井手・竹尾(再)		竹尾(再) 山崎 (長崎大学担当医)		竹尾		吉村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患	岩永				佐藤		寺田		植木	
		再来	植木		佐藤	山崎	植木	寺田	佐藤		寺田	佐藤
糖尿病 センター	新患	藤島				原口		原口		松本		
	再来	松本		松本・藤島	原口	藤島	松本	松本・藤島		藤島・原口	最勝寺(非)	
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		内田		木崎		矢野(非)		
	再来	富地		内田・矢野(非)		木崎		内田		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	妹尾		楠本	富永(再)・竹島(非・隔週)	加茂	磯本(非・隔週)	妹尾		原口		
	(肝胆膵)	草場		木下		楠本		加茂		木下		
人工透析部		福田	林・福田	福田		林・福田・荒木(非)	林・福田・荒木(非)	林・福田・荒木(非)	荒木(非)	林・福田	福田	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	若田	※	佐々木・羽田野	※	
	再来	碓		清水		菅村		清水・重政		清水・碓		
	特別顧問外来	國崎				國崎						
脳神経外科		阪元	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※	
心臓血管外科		※	※	柴田	※	※	※	柴田	※	※	※	
皮膚科		山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	
小児科		山田	生活習慣病外来	山田	乳幼児健診・予防接種	山田	心身症外来	アレルギー外来	アレルギー外来	山田	乳幼児健診	
泌尿器科	新患	徳永	※	南	※	徳永		南	※	徳永	※	
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
眼科				上松(非)								
耳鼻咽喉科		大里	※	大里	※	大里	大里	大里	※	大里	※	
放射線科		平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
放射線治療計画		堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	堀上・島本	
救急総合 診療部	内科系	長門	藤島	長門	福田(第1・3・5) 長門(第2・4)	富地	原口愛	岩永	呼吸器科担当医	長門	消化器科担当医	
	外科系	吉廣	若田・草場	吉廣	若田・草場	吉廣	若田・草場	吉廣	若田・草場	吉廣	若田・草場	
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手			井手(再)	
専門外来		インターフェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00 ペースメーカー 木崎 第2・第4月曜日14:00~16:00 乳腺 佐々木 第2・第4月曜日14:00~17:00		ストーマ 清水 第2火曜日 14:00~16:00 禁煙 菅村 14:00~17:00 ステントグラフト外来 橋本 午前		乳腺 碓 14:00~17:00 禁煙 菅村 14:00~17:00		CAPD 林和 14:00~15:00 (4週1度・再診) 下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00 睡眠 植木 9:40~10:30 (第3)		乳腺 佐々木 13:30~16:30		
健康増進センター		寺園	中尾	寺園	尾崎	寺園	寺園	寺園	寺園	寺園	中尾	
乳がん検診		尾崎		内田・中尾		尾崎・楠本		楠本・中尾	尾崎	松永・中尾		
健診婦人科(特別顧問外来)		佐々木		碓		佐々木		碓		吉廣		
		石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸		

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 * :当番医 (非):非常勤 (再):再診

※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)